FUJIEDA ROTARY CLUB

藤枝ロータリークラブ会報

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
URL http://www.fujieda-rotary.org/ E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：石垣 善康　副会長：青島 彰　幹事：酒向 謙次　副幹事：大塚 博巳

第1899回

【ラナンキュラス】
写真提供 ： 事務局

<ソング> それでこそロータリー
<ソングリーダー> 萩田 俊一君

【2010-2011年度 RIテーマ】
地域を育み
大陸をつなぐ
BUILDING COMMUNITIES
BRIDGING CONTINENTS
レイ・クリンギンスミス

■ 会 長 報 告　石垣 善康君

４月より、藤枝ロータリークラブは米山記念奨学生の世話クラブに。そしてカウンセラーに私、石垣が一年間勤めさせて頂きます。

本日は、米山記念奨学生、ダス、プロターブ君に例会出席をしていただいております。

米山記念奨学事業は１９５２年昭和２７年東京ロータリークラブによって設立されました。

奨学事業をつうじて平和日本を理解してもらう、そして平和を求め日本との架け橋になる人を支援する事をその目的といたしました。

以来、１５，０００人もの奨学生を世界に送り出してきました。

韓国の駐日韓国大使―日本文学の翻訳者―台湾のセブンイレブン、スターバックスの社長など多くの学友が世界で活躍いたしております。

正式には、財団法人ロータリー米山記念奨学会よりの委嘱であります。

２６２０地区では、合計１６名の留学生を受け入れしました。

全員がアジアからで、半数が中国です。あとベトナム、韓国、モンゴル、そしてバングラディシュからです。

奨学生には、毎月１００，０００円が奨学会より助成、藤枝ロータリークラブが窓口として、毎月例会にてお渡しいたします。

ちなみに私たちは、一人年間１２，０００円を米山記念奨学会に寄付をいたしています。

世話クラブとして、リラックスした例会、クラブ全体での交流、を心がけロータリー精神を学んで頂き、また日本人と交流をする中で、奨学生としてふさわしい学生に育って頂く、そして日本人、日本文化にふれ、将来の国際親善のリーダーになってもらう、そのために会員の皆様にお願いしたいのは、ダス君に積極的に声をかけて頂き、話をする、励ましていただきたいと思います。

４月より一年間、宜しくお願いいたします。

■ 幹 事 報 告　酒向 謙次君

- ガバナー事務所より、2010-2011 年度 第 2620 地区引継ぎ会(6/18)のご案内が届いております。
- 第 2770 地区より「TBS ラジオ CM 放送について」のご案内が届いております。
- ロータリー財団委員会より、GSE メンバーの活動状況が届いております。
- ガバナー事務所より、東日本大地震義援金の報告が届いております。
  4 月18日現在、合計 30,618,225円のご協力を頂きました。

■ 出 席 報 告　竹田 勲君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
30／40　75.00%	37／41　90.24%

(１)欠席者（事前連絡とメークアップをどうぞ）
○落合君 ○酒井君 ○鈴木邦君　○鈴木廣君
○平君　○畑君　江﨑晴君　鈴木舜君
鈴木寿君　仲田晃君

■ スマイルＢＯＸ　竹田 勲君

- 記憶がなくなる位前に結婚しましたが、素朴な結婚式でした。毎回花束が届くと嫁は大変喜んでいます。
  結婚祝ありがとうございました。特に仲が悪い訳ではありませんが、すっかり忘れていました。
  青島 彰君
- ５１年目の結婚記念日に、きれいなバラの花で祝っていただき有難う。　杉浦 良一君
- ３年後の金婚式、２人共元気で迎えたいと願っています。　松葉 義之君
- 結婚のお祝いありがとうございます。４５年になりました。　大長 昭子君
- 愛する妻の誕生お祝いを頂き、大変感謝しております。　酒向 謙次君
- 用紙をもらい妻の誕生日を思い出しました。ありがとうございます。　松葉 隆夫君
- 創立記念日例会のカラオケ大会のチャンピオンになりました。　山田 昭雄君
- 新茶が始まりました。１ヶ月半がんばります。
  松葉 隆夫君

スマイル累計額　　５４９，５００円

◎ ガバナー補佐期末訪問

「一年間のお礼のご挨拶」
ガバナー補佐
青島 克郎君
ガバナー補佐
事務局長
後藤 功君

◎ 米山奨学生　会員との顔合わせ,紹介

米山奨学生
ダス・プロタープ君

みなさま、こんにちは。私はプロタープ・ダスと申します。４年半前、バングラデシュから参りました。今、静岡産業大学の情報学部の４年生です。“医療や福祉事業に、情報機器を使ってコストを減らす事と共に、よりスムーズなサービスを提供する事について研究しております。
今年の４月より米山記念奨学生に選んで頂き、心より御礼申し上げます。奨学生に選ばれた事は、栄誉ある事ですし、私の今までの留学生活が認められたといった思いです。
皆様に心より御礼申し上げ、一年間よろしくお願い申し上げます。

■ 地 区 協 議 会 報 告

（2011.4.17　沼津文化センター）

●２０１１～２０１２会長エレクト　青島 彰君

４月１７日、次年度地区協議会に会員１２名事務局員奥脇さんと参加しました。
東電の計画停電の影響があるとのことで午前の開始の予定が午後の開催と変更になりました。又、南クラブと合同でバスを仕立てての参加でした。
本会議では積惟貞次期ガバナーよりＲＩ会長テーマ
「家族」：全て世の基本は家族である。まず自分の家族を大切に、その輪を広げよう。
「継続」：我々が今までやってきて良かったことは継続しよう。
「変化」：社会の変化に応じて我々も良い方向に変化しよう。
の紹介があり、サンディエゴでの国際協議会の様子などを話されました。
ＰＥＴＳの２日前東北大震災が起こり、当初立案した中山ガバナーの「不易流行」の継承を地区目標としていましたが急遽「災害復興支援」を第１目標とし各クラブの協力を訴えました。
会長・幹事・会員増強の分科会は大ホールでそのまま開催され、ロータリーコディネーターの坂本俊雄氏がクラブ数、会員の減少に歯止めがきかない現状を具体的な数字を挙げ、今のままのロータリークラブでは将来的に大変な状態になると会員増強について最大限の努力が必要と話されました。当クラブでは最近は着実に会員増強がされてきましたが創立４０周年を期に大きな目標のもと

会員全員が協力してこれに当たらなければなりません。分科会が終わり全体会議において地区会員増強委員長は会員増強が達成出来ないときはガバナーをはじめとした役員の頭を丸める覚悟であると決意表明しました。
本年度地区役員の決意は充分に伝わりましたがパストガバナーの発言を聴いていると災害支援等の考え方には少し距離を感じたのは私だけでしょうか。

最近１０年間のクラブ数、会員数の動向

年度 (1 月度)	クラブ数 （国内）	会員数 （国内）	会員 増減率
2000~ 2001	2,317	115,814	
2005~ 2006	2,333	101,729	－12.17%
2010~ 2011	2,308	90,648	－21.73%

●次年度広報・ＩＴ委員会

代理出席者　江﨑 晴城君

□主題
「地区のホームページを充実させたい」
① 各クラブとの連携を強化(情報交流)していきたい
② 般の方へロータリー活動を知ってもらいたい

□地区からの依頼
① 地区ホームページと各クラブのリンク(バナー)を各クラブの情報受信の各役職者名、アドレスを地区 HP に登録してほしい
② クラブの情報を地区にアップを(動画も歓迎)　例会変更、活動、マスコミ掲載、卓話スケジュールなど
③ 地区ホームページ更新のお知らせをメール受信してほしい
④ 各クラブの出席報告にデータ入力を(ガバナー月信に自動的に掲載される)
⑤ 地区ホームページ　バナースポンサーを募集　5000 円/年

□流れ
各クラブ→ガバナー補佐事務局→地区
※ガバナー補佐を通す

□配信の方法
後日地区より各クラブ担当者に連絡されます

□その他
2011 年 5 月、2012 年 12 月に地区ホームページへの第 5 分区活動報告掲載予定

●次年度会員増強委員会委員長

松葉 義之君

『会員増強　いかに取り組むか』
≪ガバナー補佐・会長・幹事・事務局員部会と合同で分科会が行われた≫

① 中山ガバナー挨拶
東日本大震災の影響は長期化が予想される。継続支援を行ってゆく

② 積ガバナーエレクト挨拶
部会を合同とした意味を語る。現在のロータリークラブの会員維持増強は大変大きな問題であり、会長、幹事、増強委員長共にこの問題に取り組む事を強く意識して頂くため。坂本コーディネーターの話を一緒に聞いて次の対応に取り組んでほしい。

③ 飯田地区研修リーダー挨拶
ガバナーエレクト、ガバナーの 2 年間に 2 クラブがＲＩから脱退した。また少数化により再度会長、幹事に重複就任の例も見られる。退会者も高齢者のみでなく入会 3 年以内の若い会員にも見られる。増強にあたってはロータリーの理念をしっかり伝え、寄付等は義務ではなくあくまで自由意志である事もしっかり伝える事が肝要である。

④ 講話　コーディネーター
坂本俊雄氏（八王子ＲＣ・パストガバナー）
ロータリークラブの会員減少が大きな問題である。日本では最高時より－30.2%、アメリカで－14.3%、世界全体では－1.2%となっている。

2011 年よりクラブ創立の基準を 25 名以上と規定したが、現在 20 名未満のクラブが日本では 2,308 クラブ中“367”クラブ、世界では 34,626 クラブ中 7,799 クラブにのぼる状況である。

退会防止と会員増強の手だてとしていま色々な試みがなされている。例を挙げれば準会員制導入、法人会員（1 法人で 4 人とか）制、また革新性と柔軟性のある試験的なプログラムを取り入れたり、35 歳以下の入会には入会金と会費を免除するなどがある。

2620 地区も年間 100 名超減が数年続いている。見逃せない。とにかく今純増も大事だが先ず減少を防止する決意が重要である。

その上でこれまでロータリーと関係のあった人を勧誘する。

8 月は増強月間、その前に“会員増強セミナー”が予定されている。会長、幹事、委員長一丸となって取り組んで欲しい。

●次年度奉仕プロジェクト委員長
森下 敏顯君

奉仕プロジェクト委員会は社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕の各委員会の合同で行われました。

リーダーの牧田静二氏のお話の中で「ＲＩが本社で地区が支店、クラブが営業所ではありませんよ。クラブは本社であり、ＲＩとは同等であるから、クラブの会長さんはＲＩ、地区の大きな決め事の範囲内で独自なロータリー活動を積極的に進めてください」とのお話があり、印象に残りました。

●奉仕プロジェクト委員会　　池ノ谷 敏正君

平成 23 年 4 月 17 日　14 時 15 分から 15 時 20 分まで沼津勤労者体育センターにて「奉仕プロジェクト部会」の一委員会として、社会奉仕委員会と国際奉仕委員会と合同で分科会が行われた。

発表は、各部会ごと新委員長が中心として行われたが、職業奉仕委員会は、道前地区職業奉仕委員長（沼津ＲＣ）が行った。

２０１１－２０１２年度職業奉仕委員会の事業計画は、前年度までの活動を踏襲しながらすすめていきたい。との話しの後、下記のとおりの実施事項並びにその具体的内容が説明された。

活動基本方針：

職業奉仕の理念の更なる理解と実践

自己の職業奉仕：

「職業宣言」と「四つのテスト」の再確認

クラブの活動：

① 会員又は外部講師による職業奉仕についての卓話の実施
② 会員による自己の職場についての卓話
③ 職場訪問の実施
④ 例会における四つのテストの唱和

分区の活動：

各クラブで実施した職業奉仕活動の実態を取りまとめ、各クラブに今後の活動の参考にして貰うべく情報提供する。

地区職業奉仕委員会：

各クラブより提出された職業奉仕活動を編集して、ガバナー月信に掲載して貰う。

●次年度奉仕プロジェクト委員会（職業奉仕）
池谷 佳典君

①地区研修委員会委員長

パストガバナー　牧田静二氏　講話

奉仕活動は、クラブとロータリアンが行うものであり、ＲＩがやるものではない

ＲＩ、地区とクラブは、各地域に合ったものが好ましく、継続を持たせることが重要です。

奉仕プロジェクトは、クラブとして重点的にやるものは１～２つで充分

②社会奉仕委員会

○富士山世界文化遺産登録へのＰＲサポート事業及びポリオ撲滅活動への参加

５月中

山梨県と静岡県の世界文化遺産登録関係者に協力要請

- 世界文化遺産の意義の説明と事業開催の告知・事業概要説明書の作成・事業概要説明書の配布・事業への参加の募集
- マスコミへの協力要請・事業概要の説明・事業協力への要請

８月６日（土）・７日（日）

- 世界文化遺産登録ＰＲサポート事業の開催
  富士山の頂上へ登山し、世界文化遺産登録及びポリオ撲滅を訴える

〇富士山の日・推進活動

２０１２年２月２３日

- 「富士山の日」記念チャリティーコンサートを開催。富士山文化遺産登録推進事業へ寄付する。

〇各クラブの社会奉仕活動の情報収集と発信

- 周年クラブの記念事業の概要収集及び発信

●次年度新世代委員会　担当リーダー

大塚 高弘君

〇新世代委員会　中村委員長（浜松中ＲＣ）

次の時代のリーダーを見つける委員会であり、インターアクトとローターアクトより成り立っています。

今、ローターアクトについては会員数が減少し、会員の拡大増強が最大の課題です。また、インターアクトからローターアクトの流れと、インターアクトとローターアクトの交流をして未来のロータリアンを発掘して行きたい。

〇インターアクト小委員会

大村小委員長（沼津ＲＣ）

① 2011～2012 年版のインターアクト年鑑を 600 部作成し、地区全クラブ、ＩＡＣ学校・生徒に配布を行います。
② 現在静岡・山梨で 21 の高校にインターアクトクラブがあり、年次大会を 2011 年 7 月 30 日、31 日にホスト校・日大三島高校（提唱クラブ・三島ＲＣ）で予定しております。
③ 指導者講習会を 12 月 11 日にホスト校・県立沼津商業高校（提唱クラブ・沼津ＲＣ）で行います。
④ 海外研修は 3 年に一度の実施とし、高校生が在学中に一度は研修が出来る様、積立をします。今年は 2 年目となります。
⑤ ＲＩ 2870 地区との交流をします。

〇ローターアクト小委員会

谷本小委員長（静岡ＲＣ）

① ローターアクトは静岡、山梨で 5 つしかありません。会員数の減少が課題で、ローターアクト会員増強の為の活動をします。
② ＲＣメンバーに理解してもらう為に 2011 年 9 月 2.3 日のアクトの日に参加、見て欲しい。

〇報告・依頼・質疑事項

① ＦＭ静岡より種まきキャンペーンに参加協力してほしい。時期が今年の６月までなので、今年度のガバナー名で各ＲＣに案内を出しますが、内容はゴーヤの種を、配布や種を蒔いて水をやったりして管理をしてもらい緑のカーテンを作って節電に協力をお願いしたい。また、ＦＭ静岡の取材を受けて、放送に出てもらいたい。
② 島田ＲＣよりローターアクトは 5 人で、島田インターアクトは 30 周年です。
③ ハーモニーと浜松は合同で例会を行い、ローターアクトも参加して行っています。
④ 静岡ＲＣは養護学校にＲＣとローターアクトで夏祭りを行った。
⑤ ローターアクトの定年を上げたらどうか？（定年の引き上げ案は、世界の中で日本だけなので難しいと思われる）

●次年度ロータリー財団委員会委員長

鈴木 廣利君

財団部会は１４：１５　ＧＳＥ小委員会委員池戸智之君（浜松）の司会で始まり、「未来の夢計画」「ＧＳＥ事業」「地区補助金の募集とマッチング・グランド」等についての説明があった。特にマッチング・グランドについては当藤枝ＲＣは申請すらしたことがないので、大変興味がありました。これについてはＨＰにも載せてあるとの事で「地区補助金」の項で一度観てみたらどうかと思います。

「財団学友会」の活動についての説明のあと、１５：００頃から財団の活動を支える寄付　ＵＳ＄１００／人年、ポリオ撲滅資金寄付ＵＳ＄２３

／人年等が承認されました。

最後に本年度のＧＳＥの相手国がオランダで、受け入れが１０月２９日、又派遣は２０１２年の４月７日～５月７日の報告がありました。その他では２・３の質問がありまして、１５：１５閉会しました。

●次年度米山記念奨学会委員会担当リーダー　渡辺　篤司君

半世紀にわたって受け継がれている事業
日本のロータリーの創始者　故米山梅吉翁の偉業を記念誌、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい。１９５２年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業「米山基金」の構想でした。
そこには二度と戦争の悲劇を繰り返さない為に、国際親善と世界平和に寄与したい・・・という当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

●新会員部会　　鈴木　邦昭君

「浜松所属」中野哲男さんによる講演と新会員研修小委員会委員長「浜松南所属」龍口良信委員長の講演による二部構成で「新会員としての心得」と題して分科会が行われました。
当クラブから畑さんと私の二人で参加し、全体では１５０名ほどの参加がありました。
まず、第一部での中野さんの講演は、３０年以上の在籍を通じての大変貴重な経験に基づくロータリアンとしての立ち振る舞いや心構え等をお話いただきました。
二部の龍口委員長の講演は、２００５年ＲＩ第２７００地区ガバナーである廣畑富雄さんの著書の「ロータリーの心と原点」を教本にお話をして頂きました。併せて１時間程でしたが、１９０５年たった４人で始まったロータリーの精神が脈々と受け継がれてきた歴史を聞きその重さと責任を感じることが出来、背筋が伸びる思いでした。
また、他の人の良さを認めあったり、親しく交わり助け合う精神も感じる事が出来、ロータリーの魅力の一部も教えられました。
最後に質疑があり、二人の方が挙手されました。
一点目ですが、夫婦で参加する場があるが、子供も小さく共働きの為、参加が困難であるというもので、二点目は職業分類についてでした。
回答に苦慮しているように少し感じましたが、一点目は仕事を頑張って参加できる環境になったら夫婦で参加すればいいとの回答でした。
職業分類は以前に比べ緩和され、同業でも細分化し五人まではＯＫという回答であったと思います。
毎年、入会した人数と同数の退会者があり、それも三年未満で辞める方が最も多いとの話もありました。自分自身まだまだ場に慣れるのに必死の状態ではありますが、１０月に新会員研修会があるようですし、今後も多くの出会いを楽しみに替えロータリーの魅力を探り吸収していきたいと分科会を通して感じました。

畑　昇君

４月１７日（日）に沼津ロータリークラブがホストの地区協議会に参加しました。本会議終了後分科会が開かれ、私は新会員部会に出席し１時間の研修を受けてまいりました。前半は、中野パストガバナーより、「ロータリアンの守るべき道」について話がありました。この話の内容は、藤枝ロータリーにおいて松葉隆夫氏による「新会員へのオリエンテーション」でしっかり教えていただいており復習の形となりました。内容的には、松葉氏のほうが分かりやすかったと感じました。後半は龍口研修委員長より「ロータリーの心と原点」基本に返ろうというテーマで話がありました。ポール・ハリスが目指したもの・考えや職業奉仕とは何か等、本当にためになる話がありました。ありがとうございました。

私は藤枝ロータリーに入会し７ヶ月とロータリアンとしてはまだ未熟ではありますが、一歩一歩ロータリアンとして皆様に追いついていきたいと考えています。今後とも宜しくお願いします。

（担当／萩田君）